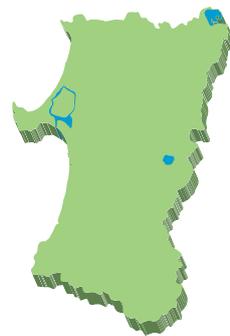


～大変革の時代～



新秋田元気創造プラン

(2022～2025年度)

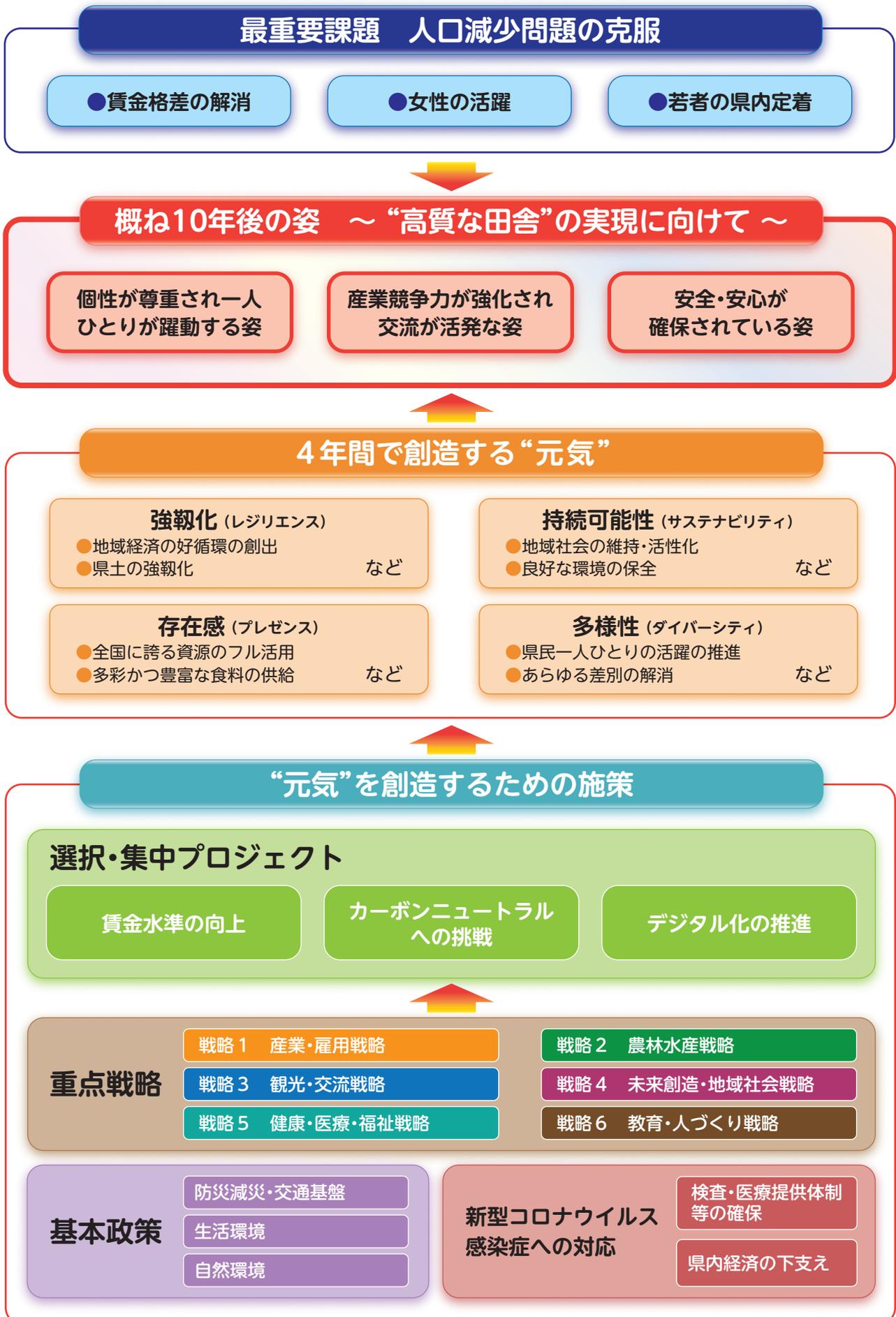


作品名「えがく秋田はどんな色？」(公募による入賞作品)

カーボンニュートラルへのシフトや新型コロナウイルス感染症のパンデミックなど、時代の大変革期に対応する新たな県政運営の指針を策定しました。賃金水準の向上をはじめ、女性の活躍の推進や若者の県内定着・回帰の促進など最重要課題である人口減少問題の克服に向けた取組を推進します。

秋田県

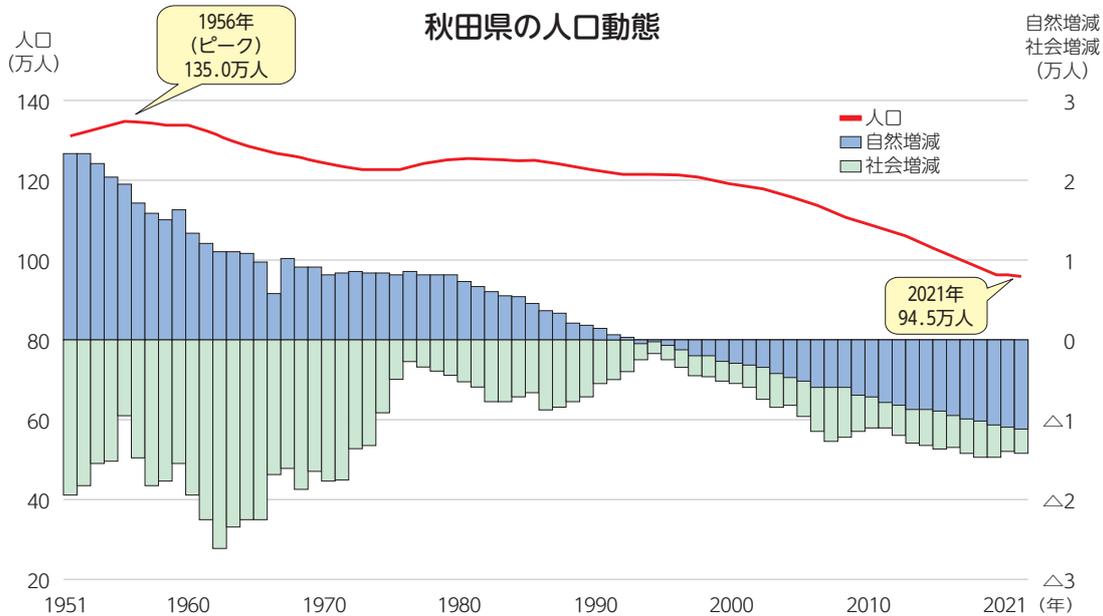
プランの構成



本県の課題と時代の潮流

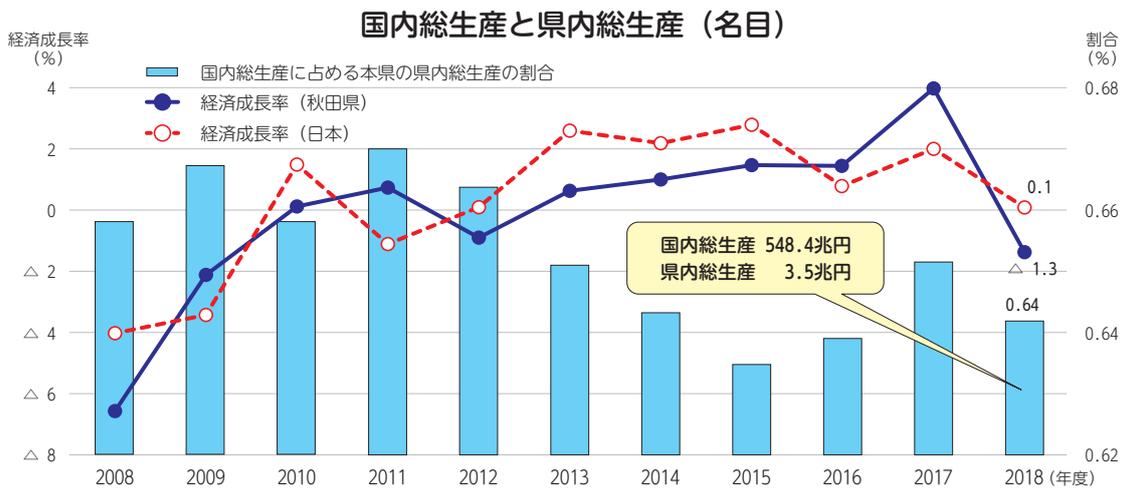
人口減少・高齢化と伸び悩む県内総生産

若年層を中心とした進学、就職等に伴う大都市圏への流出、結婚・出産に対する意識やライフスタイルの変化に伴う未婚・晩婚化や晩産化による出生数の減少等により、本県の総人口は減少を続けており、人口減少率と高齢化率は全国最大になっています。



出典：県「秋田県年齢別人口流動調査」

ITをはじめとした成長産業やインバウンド等の需要を十分に取り込めなかったことなどから本県の経済成長率は国全体を下回る傾向にあり、1人当たり県民所得は全国平均より低い水準で推移しているほか、就業者数の減少により、県内経済の活力低下が懸念されます。

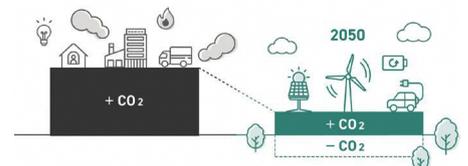


出典：内閣府「国民経済計算」、県「秋田県県民経済計算」から作成

時代の潮流

気候変動、新型コロナウイルスのパンデミックの発生など、社会は大きな変革期を迎えています。

- コロナ禍における人・モノの流れの停滞と格差の拡大
- あらゆる産業や社会生活におけるデジタル化の加速
- 世界的なカーボンニュートラルへのシフト
- 都市集中型社会から地方分散型社会への転換
- 激甚化する大規模自然災害



出典：環境省「脱炭素ポータル」

本県の優位性

全国有数の食料供給力

食料自給率は全国2位、主食用米の収穫量は全国3位、近年の農業産出額の伸び率は全国トップクラスを誇ります。



「サキホコレ」名称発表イベント



園芸メガ団地

再生可能エネルギーと森林の優位性

風力・地熱など多様な再生可能エネルギー源を有しているほか、二酸化炭素を吸収する森林資源が豊富に存在しています。



風の松原風力発電所（能代市）



日本一の面積を誇るスギ人工林

全国トップレベルの教育環境

全国学力・学習状況調査において、全国トップレベルを維持しているほか、少人数学級の導入等によるきめ細かく質の高い教育が行われています。

2021年度全国学力・学習状況調査における本県の平均正答率

教科	小学校6年生	中学校3年生
国語	71%(+6.3)	68%(+3.4)
算数・数学	72%(+1.8)	60%(+2.8)

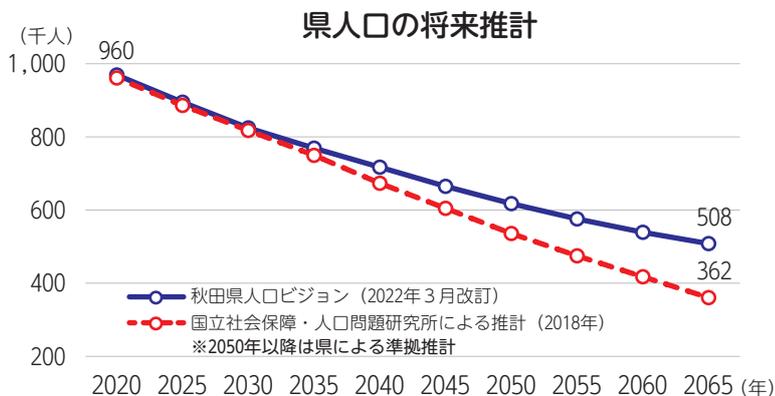
※（ ）内の数値は全国平均との差

目指すべき将来人口

秋田県人口ビジョン(2022年3月改訂)では、2040年に「希望出生率※1.8」と「転入・転出の均衡」を実現するものとして推計した人口(2065年:約51万人)を「目指すべき将来人口」として設定しています。

新プランは、この将来人口を実現するための“新たな一歩”であり、社会減・自然減の抑制に向けた4年間の歩みを着実に進めていきます。

※若い世代の結婚や子どもの数に関する希望がかなえられた場合の出生率



〈目標値〉

	現状値	目標値	
	2021年	2025年	2030年
総人口	94.5万人	88.8万人	82.2万人
社会増減数	▲2,992人	▲2,000人	▲1,300人

出典:県「秋田県年齢別人口流動調査」

選択・集中プロジェクト

プロジェクト① 賃金水準の向上

全国的に、賃金水準が低い地域ほど社会減(人口流出)が大きくなる傾向があり、秋田県の場合、東京圏との賃金水準格差が社会減の大きな要因の一つと考えられます。

「労働生産性」と「県内就業率」の向上により賃金水準と相関関係にある「1人当たり県民所得」を押し上げることで東京圏等との賃金水準格差の縮小を図り、社会減の抑制につなげます。

このため、まずは産業構造が大きく異なる三大都市圏を除いた地方圏*の平均との格差の縮小を目指します。

また、特に若者の県内就職の促進が喫緊の課題であることから、新規学卒者の所定内給与額についても目標値を設定します。



	秋田県	東京圏	全国平均
労働生産性 (千円)	7,136 (全国38位)	9,429	8,615
県内就業率 (%)	50.3 (全国24位)	54.2	51.9

出典:内閣府「県民経済計算」(2018年度)から作成

〈賃金水準目標値〉



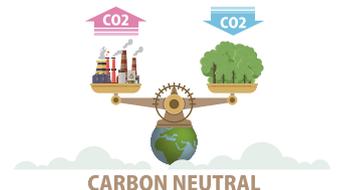
〈新規学卒者の所定内給与額〉



※地方圏
東京圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)、
名古屋圏(愛知県、岐阜県、三重県)、大阪
圏(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県)に属
する11都府県を除いた36道県

プロジェクト② カーボンニュートラルへの挑戦

カーボンニュートラル実現に向けた世界的な潮流を大きな追い風と捉え、脱炭素社会に対応した産業の構築や、森林・木材によるCO₂吸収・貯蔵効果の強化、日常生活等に伴う温室効果ガスの排出の削減に取り組みます。



プロジェクト③ デジタル化の推進



全ての県民がデジタル化の恩恵を享受できるよう、デジタル社会を支える人材の育成と共に、日常生活に密接に関わる分野や各産業、行政のデジタル化に取り組みます。

重点戦略

戦略1

産業・雇用戦略



社会ニーズを的確に捉え、成長が見込まれる産業分野への参入や新たな価値の創造に果敢に挑戦する県内企業を後押しし、本県産業の持続的発展と魅力ある雇用の場の創出を図ります。

〈目指す姿〉

- 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化
- 地域資源を生かした成長産業の発展
- 歴史と風土に培われた地域産業の活性化
- 産業振興を支える投資の拡大

【成果指標】

風力発電設備の導入量(累積)

現状値(2020)648,549kW



目標値(2025)904,489kW



洋上風力発電設備(イメージ)

戦略2

農林水産戦略



食料供給県として、農業や水産業の生産力・収益力の維持・増大を図るとともに、森林の多面的機能の発揮と資源の循環利用の両立による林業・木材産業の成長産業化や、農山漁村の活性化を図ります。

〈目指す姿〉

- 農業の食料供給力の強化
- 林業・木材産業の成長産業化
- 水産業の持続的な発展
- 農山漁村の活性化

【成果指標】

農業産出額

現状値(2020)1,898億円



目標値(2025)2,000億円



「秋田紅あかり」と「秋田牛」

戦略3

観光・交流戦略



価値観の変化と地方への関心の高まりを好機と捉え、食や文化、スポーツをはじめとする多様な分野と観光との連携・融合により、交流人口の更なる拡大を図ります。

〈目指す姿〉

- 「何度でも訪れたいあきた」の創出
- 「美酒・美食のあきた」の創造
- 文化芸術の力による魅力ある地域の創生
- 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現
- 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

【成果指標】

観光地点等入込客数(延べ人数)

現状値(2020)18,360千人



目標値(2025)38,000千人



あきた芸術劇場ミルハス

戦略4

未来創造・地域社会戦略



社会減と自然減の抑制に向けた取組を加速するとともに、県民誰もが将来にわたって生き生きと暮らせる地域社会をつくります。

〈目指す姿〉

- 新たな人の流れの創出
- 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現
- 女性・若者が活躍できる社会の実現
- 変革する時代に対応した地域社会の構築
- 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成
- 行政サービスの向上

【成果指標】

Aターン就職者数
現状値(2020)1,120人
↓
目標値(2025)1,400人



大学生向け就活イベント

戦略5

健康・医療・福祉戦略



県民の生活を支える保健・医療・福祉サービスの充実を図り、全ての人々が共に支え合い、健康で心豊かに暮らせる環境づくりを推進します。

〈目指す姿〉

- 健康寿命日本一の実現
- 安心で質の高い医療の提供
- 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化
- 誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現

【成果指標】

健康寿命
現状値(2019)
男性72.61年 女性76.00年
↓
目標値(2025)
男性75.21年 女性78.75年

3番「健康寿命延伸」
酒は適量 タバコは吸うな
塩分控え目に
毎日運動 他人と会話し
大いに笑えばエ



新・減塩音頭

戦略6

教育・人づくり戦略



本県教育の基本である「ふるさと教育」を一層推進しながら、心豊かで郷土愛に満ち、高い志と公共の精神を持って未来を力強く切り拓く人づくりに取り組みます。

〈目指す姿〉

- 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成
- 確かな学力の育成
- グローバル社会で活躍できる人材の育成
- 豊かな心と健やかな体の育成
- 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化
- 生涯にわたり学び続けられる環境の構築

【成果指標】

高校生の県内就職率
現状値(2020)72.5%
↓
目標値(2025)80.0%



1人1台端末を活用した学習

基本政策

基本政策 1

防災減災・交通基盤

〈目指す姿〉

- 強靱な県土の実現と防災力の強化
- 交流を支える交通基盤の強化

【成果指標】

橋梁の耐震化率

現状値(2020)83.2%



目標値(2025)88.1%



橋梁の耐震補強工事

基本政策 2

生活環境

〈目指す姿〉

- 犯罪・事故のない地域の実現
- 快適で暮らしやすい生活の実現
- 安らげる生活基盤の創出

【成果指標】

交通事故死者数

現状値(2020)37人



目標値(2025)27人以下



春の全国交通安全運動

基本政策 3

自然環境

〈目指す姿〉

- 良好な環境の保全
- 豊かな自然の保全

【成果指標】

自然環境学習拠点施設等の利用者数

現状値(2020)24,326人



目標値(2025)35,000人



世界自然遺産白神山地

新型コロナウイルス感染症への対応

感染拡大に備え、コロナ医療と一般医療の両立を図りつつ、陽性確認前から回復まで切れ目なくコロナ患者に対応可能な体制を確保していきます。

また、ワクチン接種が円滑に進捗するよう関係機関との連携を強化するとともに、基本的な感染防止対策を徹底するよう呼びかけていくほか、県内経済を下支えする切れ目のない支援に取り組んでいきます。

〈検査・医療提供体制等の確保〉

- 感染の拡大局面を見据えた医療提供体制の強化
- 介護施設等の施設間連携体制の確保
など

〈県内経済の下支え〉

- 中小企業者・小規模企業者の資金繰り支援
- 販路拡大や生産性向上に向けた協業化・グループ化への支援
など

お問い合わせ：秋田県企画振興部総合政策課 TEL 018-860-1217

ウェブサイト：美の国あきたネット (<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/63261>)

